

統計委員会基本計画部会第 1 ワーキンググループ会合（第 1 回） 議事概要

1 日 時 平成 25 年 6 月 7 日（金）13：00～15：00

2 場 所 中央合同庁舎第 4 号館 共用第 1214 特別会議室

3 出 席 者

【委員】

深尾委員（座長）、西郷委員、中村委員、廣松委員

【府省・地方公共団体等】

内閣府、総務省統計局、総務省政策統括官（統計基準担当）付、財務省、厚生労働省、経済産業省、国土交通省、日本銀行、埼玉県、佐賀県

【事務局】

内閣府統計委員会担当室：村上室長、清水参事官、清水政策企画調査官ほか
総務省政策統括官（統計基準担当）付：山田統計審査官、澤村企画官ほか

- 4 議事次第 （1）第 1 ワーキンググループの検討の進め方について
（2）第 1 ワーキンググループにおける平成 24 年度施行状況報告事項の確認について
（3）その他

5 議事概要

- （1）第 1 ワーキンググループの検討の進め方について

<審議の進め方>

事務局から、参考 1 に基づき「平成 24 年度統計法施行状況報告に関する審議の進め方」について、参考 2 に基づき「基本計画部会ワーキンググループの運営」について、参考 3 に基づき「平成 24 年度統計法施行状況審議における共通的な視点等」について説明が行われた。

<座長代理の指名>

深尾座長から座長代理に中村委員が指名され、了承された。

<タスクフォースの設置>

深尾座長から、資料 1 に基づきタスクフォースの設置について提案があり、国民経済計算タスクフォース、産業関連統計タスクフォースの設置、それぞれの取りまとめ役を中村委員、西郷委員が担当することが了承された。また、タスクフォースは審議の対象とした論点に係る処方案、対応方策を作成し、ワーキンググループに報告し、ワーキンググループでは、その検証を行った

上、ワーキンググループ報告書を取りまとめることが確認された。

<審議協力者の選定>

深尾座長から、資料2に基づき、国民経済計算、産業関連統計、環境統計、観光統計の各分野について、専門的知見から審議に協力いただく審議協力者が提案され、了承された。

<審議スケジュール>

事務局から、資料3に基づき、第1ワーキンググループの審議スケジュール案の説明が行われた後、深尾座長から、これまでに委員から出されていた意見のうち「消費税率引き上げへの対応」については国民経済計算タスクフォース、産業関連統計タスクフォースの両方で検討すること、「国民経済計算と一次統計の連携」については次回の会合である国民経済計算タスクフォース（第1回）に向け内閣府に資料作成を依頼することの提案が行われ、了承された。主な意見及び各府省からの回答等は次のとおり。

- ・ 今回のQEの推計ミスも踏まえ、SNAに係るシステムの開発状況が気になる。4年前にもミスがあったと記憶しており、それ以降の対応状況や今回の問題に関して説明を受ける必要がある。なお、ここで言うシステムとは単にコンピューターのシステムというだけでなく幅広く推計に関する体制全般のこと。
 - ・ 今回のミスは、前回の施行状況審議の際に議論したシステムの問題とは若干異なるが、システムの問題ではあるので検討する必要はある。
- 国民経済計算タスクフォースの際に報告するが、SNAに関するシステム開発については、「システム最適化」の中で取り組んでおり、来年度にかけて着実に実施していく。先日のGDP速報の推計ミスについては、単純なミスでありシステムとは関係のないものと考えている。既に再発防止策を公表し、従前から行ってきたダブルチェック体制に加えて、システム上のチェックも行うことを考えており、その点も報告したい。

(2) 第1ワーキンググループにおける平成24年度施行状況報告事項の確認について

<法施行状況の第1ワーキンググループ担当分について>

事務局から、資料4に基づき、法施行状況報告のうち第1ワーキンググループ担当部分の概要と、共通の視点から、実施状況を踏まえた今後の審議のポイント案などを説明した後、意見交換が行われた。主な意見等は以下のとおり。

- ・ 現在、サービス統計・企業統計部会で経済センサス - 基礎調査等の審議を行っているが、調査対象者から報告者負担について非常に厳しい意見が出されている。統計の体系的整備の観点からの審議は必要だが、調査対象者、実査を担当する地方公共団体等の意見にも目配りすることが必要。
- ・ 輸出入申告書の委託加工の情報利用について、貿易統計の側から委託加工というフラグ情報が出ており、それをO8SNAでは財貨ではなくサービスの輸出入として取り扱うことになる。その作業は、まず国際収支統計で行うことであって、その結果をSNAで取り入れる。その次に、IO表でどう取り扱うかだが、非常に取り扱いにくい問題であり、関係者も非常に多く、そう

した点も踏まえて議論をすることになろう。

<国民経済計算タスクフォースで審議する事項の候補について>

中村委員から、国民経済計算タスクフォースで審議する事項の候補について、国際標準への接近と推計精度の向上の観点から、たたき台としての提案があり、意見交換が行われた。

【中村委員の提案】

- ・ 2008SNA への対応
- ・ 基本価格表示の産業連関表及び SNA
- ・ GDP の 3 面推計と供給・使用表（SUT）の枠組みの導入
- ・ 一次統計との連携強化
- ・ 生産、分配面の四半期速報

【主な意見等】

- ・ SNA 側から一次統計への要望は出て来るだろうが、一次統計側で実現できるかという視点も必要。タスクフォースでは一次統計作成府省の意見も聞いて検討して欲しい。
- ・ SNA における内閣府と他の省との共同作業の推進（データベースの共有、年次の産業連関表関連作業等）が長期的には必要ではないか。

<産業関連統計タスクフォースで審議する事項の候補について>

西郷委員から、産業関連統計タスクフォースで審議する事項の候補について、企業活動の把握の強化と、サービス業における構造統計の構築に関し、まずは実現可能性よりも理想を求める観点から、たたき台としての提案があり、意見交換が行われた。

【西郷委員の提案】

- ・ 企業活動に関する統計の充実
- ・ 企業グループ活動の把握
- ・ グローバルに活動する企業の活動把握
- ・ 経済センサス - 活動調査の在り方
- ・ サービス産業における構造統計の構築
- ・ サービス産業における生産物分類概念の導入

【主な意見等】

- ・ グローバルに活動する外資系企業の活動把握は、EU などでは非常に切実な問題となっており議論が行われていると思う。長期的には課題となり得るので、時間に余裕があれば、先行例を調査してもらいたい。イノベーションや生産性の計測についても、同様に、時間に余裕があれば検討してもらいたい。
 - ・ 経済センサス - 活動調査についての提案は、まだ初めて実施した平成 24 年の調査結果が出ていない中で、どのように議論するつもりか。
- 今回の基本計画には間に合わない面もあるが、調査結果に基づかない議論をしても仕方ないので、まずは基礎調査の結果及びそれに基づいて行われた活動調査の実施状況を評価すること

が出発点になると思う。

(2) その他

深尾座長から、本日の会合で決定した事項と意見交換した内容について概略的な整理が行われた。その後、今後のタスクフォースにおける審議に向け、本日の意見交換や現在全委員に対して行っている意見照会の結果も踏まえたタスクフォースの具体的な論点ペーパーの整理、各府省へのヒアリング事項等の整理、それらの委員や関係府省への事前周知等について深尾座長から指示があり、各府省に対する協力依頼も行われた。

次回の会合は、6月21日（水）10:00～12:00の国民経済計算タスクフォース（第1回）であることが案内された。

以上

<文責 内閣府大臣官房統計委員会担当室 速報のため事後修正の可能性あり>